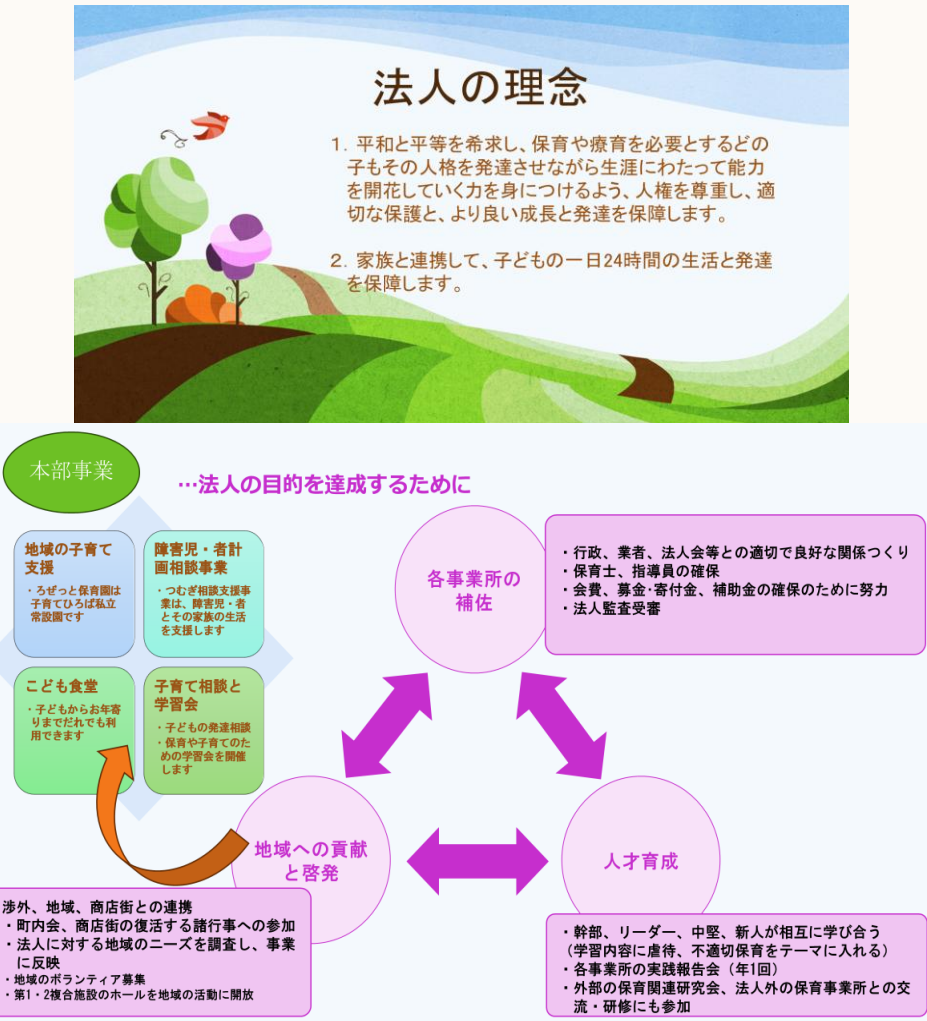


新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします



長年子どもの出生数の減少に歯止めをかけることができない日本。今年こそは社会不安や経済不安をなくして、子どもを安心して生み育て、平和と豊かさを求める国へと変わっていききたいものです。

さて、「NPO法人ってどんな組織？」という疑問をもつ方もいるのではないのでしょうか。そこで今回は、ちょっと堅いのですが、私たちムーミンの会の定款の一部を紹介します。

第3条 この法人は、どの子ども等しくその人格を発達させながら、生涯にわたって能力を開花させていくことができるよう、地域の福祉を啓発し、社会に貢献していくことを目的とする。

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 子どもの健全育成を図る活動
- (2) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 特定非営利活動に係る事業
- ①保育所に関する事業
- ②児童の放課後健全育成に関する事業
- ③障害児・者と高齢者の福祉に関する事業
- ④その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

と、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した、社会貢献活動を主たる目的とし、営利を目的とせず、活動で得た利益を構成員に分配しない点が特徴です。そのなかでも認定NPO法人は、「より客観的な基準において、高い公益性をもっている」ことを判定された法人で、活動を支援するために、個人や企業などによる寄付を促すことを目的とした制度でもあります。そこで、寄付する側・される側共に税制上の優遇措置が設けられています。

ぜひ、当会を利用している方々には賛助会員になっていただき、法人の活動の支援をよろしくお願いします。（文責 相馬範子）

## 法人設立20周年記念会及び「水泳指導書」出版記念会

- 開催日時 2026年 2月7日（土） 11：00～14：00
- 会場 モンテファール（天王町）
- 参加費 5,000円
- お問い合わせ先 なかまの杜 1階事務まで

## 2026 新年にあたって 理事長 中川節男

今年は法人誕生から20年の節目。過ぎ去る時の早さを思います。この20年間、2005年の「あそびの杜保育園」を皮切りに、毎年のように新しい施設を手に入れ、その都度利用する子どもと共に職員も増加。今では近隣の小学校の児童数を超える園児、職員数は6倍以上に。これは、誰かが今の姿を描いたわけではなく、その都度、保護者や地域の、時には行政からの要望を受けて動いた結果かと。そしてその動力源は、子どもの「安らか・健やかな成長願う」大人たちと、それを受け止め、「すべての子どもがもつ発達の可能性」に確信をもって指導できるようになりたい」と努力してきた職員・会員たちの力だと思います。今年も子どもと仲間たちから学び、その育つ力を引き出せるように指導力を高めていきましょう。



## 水と一体 になって泳ぐ

一幼児の水泳指導ー  
ドル平水泳教室で楽しい遊泳を



認定 NPO 法人ムーミンの会

著者・監修 中川 節男

共著 下澤 真菜美 イラスト 青戸 恵美

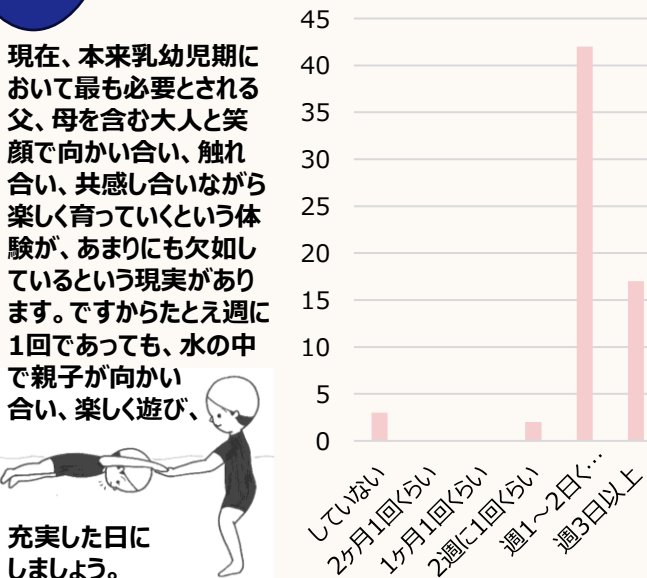
皆さん待望の「せっちい」こと中川理事長の水泳教室のテキスト本が、法人20周年祝賀会の日に合わせて、出版されます。イラストをふんだんに使い解説され、今年度のろぜっとの5歳児の姿を通して、水泳教室における子どもの成長が報告されています。

本書「はじめに」より引用して紹介します。  
【どんな泳法でも経験することですが、私の場合、「ドル平泳法」でゆったりと時間をかけて泳いでいると、自分が水の中にいることも、泳いでいることも忘れまるで水と一体になったような心地よい感覚にとらわれます。地上にいる時と同じように意識しなくても呼吸ができて、とても気持ちよく、たいした力を使わなくてもまるでクラゲのように漂いながら少しずつ進んでいけるのです。これはタイムを競う「競泳」と違い、遊びながら水と戯れるという意味で「遊泳」の1つと呼んでもいいのでしょう。  
この泳ぎは、呼吸ができなくて泳げない大人にとっても、生まれて初めてプールに入り、泳ぎを覚えたい幼児にも適しています。また肢体に不自由があったり入水すると身体に強い緊張が出たりしてしまう障害児にとっても、獲得しやすい泳ぎだと思います。】


親子で  
しません  
遊が泳

## 家庭での、子どもとの運動の習慣はどれくらいですか？

（2025年ろぜっと保育園 保護者アンケート 実践報告会における発表より引用）








### ムーミン保育園

10月24日（金）、25日（土）に4歳児へにふじ組のお泊り保育があり、鷹取山登山に挑戦しました。無事に頂上に着きお昼寝もでき、お弁当を食べる頃にあいにくの雨。雨の合間を縫いながら下山し、早めに園に戻りました。


寒く疲れたでしょうに、子どもたちは元気いっぱい。荷物整理をしたりグループで助け合ったりしながら楽しくお泊りができました。

乳児クラスでは、クラスを超えて 発達に近い子どもたちが集まり活動しています。運動遊び、手先 遊び、外遊びなど、子どもたちの情緒面も考慮しながら職員たちでその日に一緒に活動するグループを決めています。子どもたちが様々な子どもや大人と接することで得るものは大きいですが、職員も子どもの発達の学びや職員同士のコミュニケーションにつながるため、今後もこのような保育を大切にしていきたいと思っています。

5歳児あさぎ組は、11月7日（金）、8日（土）にお泊り保育を行いました。鎌倉の大平山に登り、建長寺のカラス天狗に会って宿がある長谷のあじさい荘へ。晴天に恵まれ、自然を満喫できたお泊り保育でした。全員が寝つきよく、20時就寝、朝は6時少し前からすっきりした顔で起き、着替えや布団の片付けなどをてきぱち行っていました。それは小さい時から早起き早寝の睡眠リズムを整えてくださった親御さんの実践と、それにより子どもたちが望ましい睡眠のリズムを身につけているからこそでした。引率職員が改めて生活リズムの大切さを実感した2日間でした。



文責 佐々木悦子



文責 佐々木悦子

〒220-0055 横浜市西区浜松町10-10  
子ども子育て支援複合施設なかまの杜内  
Tel 045-315-2141 Fax 045-315-2538

## 「ふらっとムーミンの家」準備状況

場所はまだ契約していませんが、西横浜駅付近の戸建て住宅を賃貸する予定です。  
**只今、実施内容検討中につき、ご要望をお聞かせください！**

誰でもフ  
ラっと立ち  
寄れる場に



### 【本園／乳児棟 NEWS】

#### 看板、見ました？

あそびの杜保育園ができた時から表の壁面に、子ども達を見守るように『**光る看板**』があります。夜になると灯りが灯り、みんなが眠るころに「**おやすみ**」と消灯します。その『**看板**』も20年が経ち、なんだかちょっと暗くなったような…。そこで、思い切ってリニューアルしました。乳児棟にぴったりの親子の木が燈るようになりました。乳児棟の前を通ったら、ちょっと見上げてみてください。かわいい親子が笑っています。12月には毎年恒例子どもたちの笑顔のツリーが登場。どの子もキラキラ笑顔この笑顔も、これからの笑顔も平和であってこそ…です。❤

今日の給食 12月9日（火）

日々の給食 HP 掲載中



### 【分園／幼児棟 NEWS】

#### やっとつきました！

##### ピンポンパンポン

「ともだちの山」にある幼児棟は、事務所が2階で保育室は3階。大至急の連絡がある時、事務所から1段飛ばして3階まで階段を駆け上っていたのですが、この度『**館内放送**』がつかまりました。屋上まで声が届くので、災害時の避難指示・緊急連絡があっても安心です。使わないことが一番ですが、大切な命を守るために「万一」の備えは大切です。今は毎月の避難訓練で大活躍！一斉に声が届くって安心ですね。幼児棟にも現れる笑顔のツリー。保育園の子ども達が1本の樹に集まりました。「みんな仲良く、今年も1年元気でした。」そして「新しい年も元気に過ごそう！」そんな気持ちを込めてお餅つき。個性的な鏡餅を作ります。

2026年になりました。箱根駅伝を応援するため、私もせっせとランニングをしていた際に、きれいな富士山を見たので皆様にもご利益があるように…写真を張り付けますね。富士山の反対には江の島が見えました。寒さが厳しくなってきましたが、我が家の早朝散歩は欠かしません。朝の6時30頃からだんだん明るくなってくるのですが、空にはまだお月様が光っていてとても綺麗です。霜柱を踏んだり、凍っている水たまりを歩いたり…寒い季節にしか出来ない朝の散歩を楽しんでみませんか？（文責 武谷真未）






うぜっと保育園

### 《つむぎ子ども教室・Ⅱ：児童発達支援》（文責：渡邊美恵子）

2026年が始まります。今年も「わくわく★ドキドキ」するような、楽しく笑いあふれる毎日で、保護者と一緒に子ども達の発達・成長に関わりたいと思います。引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。

つむぎ子ども教室・Ⅱでは、日々の療育とは別の土曜日イベントも楽しみな活動の一つです。日々の療育を知ってもらう「つむぎ体操・運動遊び・感触遊び等」「夏祭りごっこ」「野外へ出かける遠足」（今年度は金沢動物園）「毎年恒例の三浦のみかん狩り」「クリスマス会」季節ごとに親子イベントを実施しています。ご家族一緒に楽しめて、他の皆さまとも交流できる場として新年度もぜひイベント開催を楽しみにしていただいね！



### 《つむぎ相談支援事業所》（文責：官林祐治）

つむぎの相談支援は18歳未満の幼児・児童期のお子さんを対象として計画を策定しております。が、毎年成長してきますので、18歳の大人に成長していきます。同じ計画でも児童と大人では支援主体が大きく変わるため、本人ならびに家族は勿論、相談支援もまた従前の計画とは大きく変わらざるを得ません。未就学児であれば保育園と児発が、学齢期のお子さんは学校があり、そこに放デイなどが加わるというのが支援の主な体制になります。大人になると就労ならびに生活スタイルによってはグループホームなどが重要な支援体制になり、障害者年金などの行政支援も視野に入れていかなければなりません。ということで相談支援には幅広く福祉資源（サービス）に精通している必要があります。常に知見を広めていかなければならないと引き締めております。そして地域とのつながり、社会資源、人とのつながり（ネットワーク）が何よりも大切です。新年も繋がることを大事にしながら伴走したいと考えています。

### 陽だまり学童クラブ

現在、学童クラブでは来年度の募集が始まり、説明会や面談が行われています。5歳6歳の子どもたちを見ると、とても可愛らしく、これから一緒に育っていける喜びに期待が高まります。

今年度、学童には高校生のアルバイトさんがいます。彼女はうちの学童を卒所して中学生生活を終えた、高校1年生です。6年生の頃から「**絶対学童で働きたい！**」と言っており、それを実現した子です。もちろん学業や学生生活が優先となりますので、多くは出勤できませんが、その成長した姿と、はつと働く姿には胸に来るものがあります。

他にもこちらから声をかけた、大学1年生の教え子・なかまたちにも勤務してもらっています。5歳6歳の頃から見てきた子です。6年ぶりに会いましたが、懐かしさと共にいろいろなエピソードが思い出されます。そして変わらず“**ここ**”を好きでいてくれることをうれしく思います。

今年法人設立20周年。新しい出会いは毎年あります。そして交流はずっと続きます。長く続けることのうれしさやたのしさを実感しています。今後もよろしくお願いします。

文責 本落和紀

### つむぎ子ども教室 放課後等デイサービス




放デイの子どもたちは、身体を動かして遊ぶことが大好きです。運動が得意！という子も多くなりますが、うまく身体を動かせなくても・体力がそれほどなくてもできるような遊びを準備し、みんなで取り組めるように考えています。

前年度あたりから、ポッチャに積極的に取り組み、みんながルールを覚えて楽しめるようになってきました。最近はステップアップしてモルックにもトライしています。

みなさんはモルックというスポーツはご存知ですか？モルックはフィンランド発祥のバラスポーツ。木でできた12本のピンと、投げる用の木片、投げる場所の目印だけあれば、野外でもできます。年齢や健康状態に関わらず、老若男女が楽しめる遊びなので、放デイの子たちとやってみることにしました。

子どもたちの反応は様々ですが、基本的に『負けたくない！』気持ちが強い子どもたちなので、大人が対戦相手になるとがぜん燃えます！大人たちも、モルックやポッチャに限らず流行りのダンスをしてみたり、カードゲームを用意したり、子どもたちの良きパートナーになるよう、普段から関係性作りと楽しい雰囲気を作っています。

楽しい遊びを通して、子どもたちが自分の力を伸ばす場所。その子のペース、年齢、障害特性によってアプローチは違いますが、家庭と同じく安心できる場所と人を提供したいと思っています。毎日、子どもたちの成長を見ながら、大人も楽しめる場所を目指していきます。



## 《なないろ学童クラブ》

あけましておめでとうございます。

### ◎お雑煮のこと

年末にお雑煮の話子どもたちにしました。各地方で中身も味も違うお雑煮。「おもちの形はなんだろうね？」と、プチ宿題をだしました。なんと半数以上の子がお雑煮は「食べなかった」でした。

今時、一から正月のための料理は難しいのかもしれませんが。

“伝え継ぐ” ちょっとしたお雑煮のことでも大切にしていきたいな。と、思いました。

来年度から【学童のお雑煮】を作って伝えるのもありですね。

神に捧げる具沢山にするか、江戸菜鶏にするか。味と意味を伝えていけたらいいなと思っています。

文責：稲垣 秋則

**次年度5月の総会でご講演いただく 岩倉政城先生から早々に楽しいお便りがきました**  
「明けましておめでとうございます。  
どうぞ皆さんで話し合っテーマを決めて下さい。貴園に行くのを楽しみにしています。  
会場は園のホールで十分です。莫座を敷いてみんなで紙芝居を見るような雰囲気でしたら最高です。椅子も机も要りません。演台も不要です。保護者が子連れで参加し、講話中に子どもが走り回ったりボクのところにちょっかいをかけてくれるような、そんな会場で話せたらと思います。」